

保護者各位

「自己評価のご報告」

日頃より当園の保育園運営にご理解・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。
社員一同心より深く感謝申し上げます。

さて、令和5年度も残りわずかとなりました。過日の「成長を祝う会」では、多くの保護者の皆様にご参加いただき感謝申し上げます。当日は、1年の子ども達1人1人の成長を共に感じられて大変嬉しく思っております。

さて、先日はお忙しい中、アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。集計ができましたので、まず「保者アンケート結果」、次に「社員自己評価まとめ」、最後に「園としての自己評価」をさせていただきます、ここにご報告申し上げます。

1. 保護者アンケート結果に関して

「保護者アンケート結果」アルタベビー三橋園

回答率:69 %

No	質問項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
1	当社の保育理念・保育目標について理解していますか	82 %	0 %	18 %
2	当社社員はお子さんの気持ちを大切にしていると感じますか	82 %	18 %	0 %
3	当社社員の言葉遣いや態度、服装等は適切ですか	91 %	9 %	0 %
4	保育園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	82 %	9 %	9 %
5	安全対策や感染症対策が十分取られていると思いますか	91 %	9 %	0 %
6	お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったとき、当社社員の対応は信頼できますか	91 %	9 %	0 %
7	園で提供される食事・おやつはお子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	91 %	9 %	0 %
8	不満に思ったことや要望を伝えたとき、当社社員はきちんと対応してくれていると思いますか	82 %	18 %	0 %
9	当園に満足されていますか	91 %	9 %	0 %

【項目1】

- ・この項目に関しましては、今回8割の方のご理解をいただきました。ありがとうございました。しかしながら、2割の方は「いいえ」というご回答をいただきましたので、その方々には届いていないという現状がわかりました。当社の保育理念は「日々の丁寧な関わりによって健全な生活習慣の形成を促し、明るく前向きな姿勢を保つとともに、自分らしく元気な姿でより良い人間関係を自ら求め、将来国際社会で活躍できる子どもを育てる」というものです。この目標を基軸にしながら保育を日々展開しております。しかしながら、昨年度より「はい」というご回答をいただけた割合が大幅に増えた事は、職員一同感謝を申し上げます。それに満足する事なく、今後も私達職員一同、益々保育理念をしっかりと理解し、日々の保育に浸透していく事で保護者の皆様に理念がしっかりとお届けできるよう益々工夫していきたいと思っております。

【項目2】

- ・この項目に関しましては、今回は8割の方々にご理解をいただきました。ありがとうございます。また「どちらともいえない」が2割というご回答をいただきました。日々の保育を通して、保護者の多くの皆様にそのように感じて頂けておりました事を大変嬉しく思っております。小規模保育園の最大のメリットは「1人ひとりの気持ちに寄り添い。一人ひとりの成長や興味や関心に合わせて丁寧な保育ができる事」だと思っております。その点を重要視して保育に当たって参りました。0歳児から2歳児においては、人間形成の上で大変重要な時期であります。そのような時期に大切なお子さんをお預かりさせていただける事を重責と感じ子どもの心に寄り添い、また保護者の皆様のお子さんへ対する想いに寄り添いながら保育する事を心掛けて参りました。今後も職員一同、保護者のお子さんへの深い愛情や想いに耳を傾けながら、また分かち合いながら、一緒にお子さんの成長をとともに喜びあっていきたいと感じております。

【項目3】

- ・この項目に関しましては、9割の保護者の方にご理解をいただきました。誠にありがとうございます。子ども達はこの時期、日々たくさんの言葉を吸収しております。まさに言葉を獲得する大切な時期ですので、職員達は大変気をつけなければなりません。どんな言葉もすぐに真似するため正しい言葉遣いを普段から意識するように心がけております。また社内研修を通して職員達は敬語や丁寧語の使い方を学ぶ機会を作って日々研鑽しております。服装につきましても、当社の服装規定を順守し、清潔感のある身だしなみを心掛けております。

【項目4】

- ・この項目に関しましては、2割に方々に届いていないという現状がわかりました。当園においては、日々毎日掃除と拭き掃除、玩具の消毒拭きなど、子ども達の手の触れる物・場所の消毒（次亜塩素酸による）を行い、毎日清潔な生活環境となるよう心がけております。
また、子ども達もお片付けの習慣や環境美化の意識が身に付くように園内の環境整備の気をつけておりましたが、今回のご回答を受けて、今後玄関まわり・外回りの美化にも一層力を入れて整理整頓・清潔清掃に向けて改善し進んで取り組んで参ります。

【項目5】

- ・9割の方々のご理解をいただきまして、職員一同感謝を申し上げます。昨年度も「コロナ禍」において、感染症対策には特に気をつけて参りましたが、今回は「いいえ」と1割の方がご回答をいただき、届いていない事が判りました。
今年度は、おかげさまで園内での感染症は無く、無事に乗り切る事が出来ました。しかし、冬季に入り、若干ですが体調を崩してしまうお子さんも多かったように思われます。引き続き、園内の換気や手指の消毒、玩具のこまめな消毒や清掃などを引き続き行い、職員の健康管理にも留意しながら過ごしていきたいと思っております。
安全面につきましては、怪我や事故が起こらないように常に園内の環境整備に努めております。0歳児クラスは、少人数での遊びを確保し、安全に留意しながら保育しております。
1歳児・2歳児クラス合同保育の異年齢での保育の時は、みんなで安全に仲良く遊ぶためのお約束事を必ずお話ししてから遊んでいます。玩具の貸し借りや玩具を投げたりしないで大切に使う事、また小さなお友達に優しくする事、お部屋では走らずに歩いたり座って遊ぶ事など毎日繰り返しお話しする事で子ども達も忘れずにお約束を守って遊びようになってきました。
戸外遊びについては、基本的に天候のよい日には、毎日必ず複数の保育士で戸外活動に引率しております。また、その日の戸外遊びの目的や気温や天候に合わせて、行き先や活動内容・時間帯を考慮して実施しております。子ども達が安全に歩けるコースや道路を歩いて、散歩して楽しんでおりますが、天気予報や雨雲レーダーで散歩時や先の天候を事前に確認チェックしますので、時には中止する事もあります。雨天の場合は、時に園舎前のテラスを使っての外気浴に変更する事もありますが、子ども達は気分転換も出来て喜んでおります。

【項目6】

- ・お子様が園で体調を崩した際には、早めのお迎えを等にもいつもご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。今回「はい」というご回答を9割の方々から頂いてお

り、誠にありがとうございます。しかし、「どちらともいえない」というご回答を1割の方々に頂きました。毎日の連絡帳や口頭でのお子様の家庭での様子・体調についてお知らせ頂いているお陰をもちまして、体調の変化にすぐに気付いて対応する事が出来ております。怪我の対応につきましては、迅速な対応を心掛けております。また今年も年に1度は救急救命講習を受講し、緊急時の応急手当や安全に関する知識を深めるように努めております。

【項目7】

- ・この項目に関しましては、9割の方々より「はい」とご回答をいただきました。大変嬉しく感じております。ありがとうございます。

おやつや給食は、「楽しく食べる」をいつも大切にしております。常にお子様の食べられる量に合わせて、また食器やスプーン等の形体にもお子様の発達に合わせて用意して楽しく食べることに工夫しております。

特に離乳食の時期は、進め方もよく解らないと心配されるご家庭もいらっしゃいます。当園ではお子様1人ひとりに寄り添いながら、個々のペースを大切にしながら進めていけるようにご家庭を相談・ご協力いただきながら、進めていきたいと思っております。

また、みんなで一緒に食べる事によって、「よりよい相乗効果」が起こり、「みんなで食べると美味しいね」「おいしい！」と笑顔で調理員にピースをする子ども達もいます。その時の子ども達の笑顔は最高の誉め言葉です。また、「食育活動」にも力を入れております。毎月調理員と連携・相談しながら各クラス月1回のペースで食育活動を計画しており、「野菜の皮むき」「クッキー作り」「ワカメのちぎり」「ゆかりごはんのラップ包み」「ジャガイモ掘り」「サツマイモ掘り」など行事や季節の食材に触れる機会を全員で取り組めるように無理なく保育に取り入れています。

【項目8】

- ・この項目については、8割の方々からご理解をいただいております。ありがとうございます。常によりよい保育を提供するために、保護者の皆様のご意見やご要望に耳を傾けて、お伺いする姿勢を今後とも積極的に進めてまいりたいとおもっております。引き続き、どんな些細な事でもご不安やご要望などありましたら、職員・園長にお伝え下されば幸いです。

【項目9】

- ・ほとんどの保護者の皆様に満足いただいているとご回答をいただき、大変嬉しく感じております。しかし、「どちらともいえない」という方も1割いらっしゃる事が判りましたので、益々気を引き締めて、今後も引き続き、当園を利用されるお子様・保護者の皆様が日々安心して満ち足りた時間を共に過ごす事が出来るよう職員一同精進して参りま

す。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

2. 社員自己評価に関して

当園の保育士に確認した自己評価のまとめをここに掲載させていただきます。今年度も保育理念を基本にし、また、保護者のご要望にそって様々な事に試行錯誤模索しながら、挑戦して日々の保育に取り組んで参りました。今後のよりよい保育に繋げていきたいと思ひます。

《当社姿勢目標の順守に関して》

- ・園内に関わる方々（園児・保護者・職員間）に対しては、率先して笑顔で元気に挨拶をしていくよう、また時間を見つけては積極的に声をかけていくように心がけていった。
- ・園内の共有スペースなどもお互いに声をかけあって、快適に過ごせるように整理整頓・清潔・清掃していく事を心掛けていった。
- ・服装も清潔感のある服装を心掛け、気持ちよい空間を共有できたことはよかった。
- ・仕事の中で、率先して動いてくれる職員に対して、心を込めて感謝の言葉を互いに声かけあっていった。互いに気持ちよい環境を整えていった。
- ・仕事を進める際に、困ったり解決策が見つからないような時は、職員間で相談したり、園長に相談するなどより相談しやすい環境が出来ており、お互いに助け合って勤務できているため安心して仕事が出来ている。
- ・職員間の必要な連絡事項などは、日々の毎日の「朝の会」や夕方に引継ぎの時間を設けているため、他クラスの子供達のものも全職員で共有できている。そのため子供達への必要な対応も理解ができて安心である。
- ・職員間でもお互いの得意な分野を理解しあい、相互に助け合っている環境が良かった。
- ・困難な事・苦手意識がある事に対しても、自ら挑戦し取り組んでいく姿勢を職員間で行っているため互いに励ましあっていける環境が良かった。

《コドモンを用いた保育計画に関して》

- ・子供達の「つぶやき」や、保育中のちょっとした出来事や保護者にこれは伝えたい！というエピソードをコドモンに書いて喜びを共有し伝える事ができた。
- ・担任以外の職員も子供の家庭での様子や連絡事項が、すぐに共有する事が出来る。そのため子供への理解や保護者への対応が適切に行う事が出来て大変助かっている
- ・欠席の連絡やお迎え時間の変更などは、全職員でこまめに確認でき、確認の遅れや漏れがなくなった。

- ・日々の保育の様子を写真やコメントを通して、保護者に子どもの成長や過ごし方など楽しい様子が伝わりやすくなって良かった。
- ・お知らせ機能や配信機能がついているため、その利用により保護者との迅速な対応や連絡が取りあえ信頼関係が構築され、有効に活用できている。
- ・連絡帳や日誌の事務作業がしやすく、集中して短時間で作業する事が可能になり、そのため空いた時間を教材作りや保育準備に時間を有効活用できている。

《保育の成果、次年度に向けた目標に関して》

- ・日々の保育の中で、子ども一人ひとりの個性や発達に合わせて、丁寧に関わりを持ちながらより良い保育環境を整える事ができ、1人ひとり個性ある成長が培われた。また、その丁寧な関わり方・保育により基本的な生活習慣を確立することができてきた。
- ・当園の特色でもある「保育園舎の周辺は自然豊かな環境が整っている」ため、春は「ジャガイモ堀遠足」「桜のお花見」また夏は「みずべの里公園での水遊び」、秋は「サツマイモ堀遠足」そして、冬は「みずべの里公園での氷観察」等を実施できる事は、大変子ども達の情操教育・感性を豊かにしていると常々感謝し、その恩恵を賜っている事に職員一同深く感謝をしている。
- ・次年度に向けても自然豊かな恵みを、子ども達・職員・保護者とも共有できるように、今年同様、四季折々の行事「ジャガイモ堀遠足」「サツマイモ堀遠足」等他の計画を実施していきたい。
- ・外部や園内研修を通して、各自のスキルアップと保育の質の向上を目指していく。
- ・今後も保育において、計画的な保育が出来るようにPDCAサイクルに取り組んでいきたいと思っている。
- ・子ども達の成長に合わせながら、また、「子どもの成長する力」を信頼し、職員も同様に共に成長しながら日々研鑽していく事を心掛けている。次年度も継続していきたい。
- ・次年度においても、子ども達同士の関わりに目を配り注意し、怪我の無いようにより注意し見守っていきたい。また、今年度も行っていた子どもへの関わり「受容」と「見守り」・「援助」のバランスを考慮してこれからも保育にあたっていきたい。

3. 園としての自己評価に関して

《当社（全園共通）の保育理念に関して》

- ・子ども達が安心して過ごせる居場所。また保護者が安心して預けられる保育園。自分らしく主体的に過ごせる場所・保育園作創りをして参りました。

0歳～2歳までの小規模保育園の良さとして「1人ひとりの気持ちに寄り添っていく保育」ができる環境があるため、自我の育ちを見守りながらも、語彙の獲得を促しながら、友だちとの関わり方や表現する事の喜びを楽しむ事など、保育の様々な側面から成長しあえるように保育計画を立てていきました。また、小規模保育園である当園では、乳幼児期においては重要な愛着形成を基盤に、「私は大切にされている。愛されている」と感じて安心して過ごせる保育作りをしていきました。その中において、子どもなりに自ら成長する喜びを感じ、見守れている安心感の中で基本的な生活習慣を身につけていきながら、子どもたちの最善の利益・成長を保障するにはどうしたら良いのかと職員一同より良い保育に向けて意見を出し合いながら進めていきたいと思えます。

《当園の保育目標に関して》

◆SDGs(自然環境保護教育・人権教育目標)において

【0歳児組】

- ・自分の周りにある物・人・環境を、周囲の大人たちが、大切にして扱うなど、常に保育士は心掛けていく。
- ・子どもたちの声やしぐさ・表情などを、よく見守り、その想いに応えて行くことを大切にす。

【1歳児組】

- ・清潔で、安全な環境の中で、元気に過ごす。
- ・身の周りの事に積極的に取り組み、基本的な生活習慣を身につける。
- ・自分の体に興味を持ち、大切にする。
- ・絵本等を通じて、異なる文化に親しみを持つ。

【2歳児組】

- ・健康で安全な環境の中で、過ごす。
危険な場所や一人ひとりの健康状態を把握しておく。
- ・子ども達の可能性を伸ばす。
運動遊び(遊具・ボール等)や、生活に必要な事が出来るようにする。
毎日の積み重ねを大切にする事で、より良い保育を提供していく。
- ・男の子・女の子と区別せず。一人の人として見る。
男女を意識して、職員が色を決める等、せずにかかわっていく。
- ・地域の方との触れ合いを楽しむ。
行事等を通して、地域交流を図り、いろいろな人に関わり知る。

◆食育目標**【0歳児組】**

- ・野菜などや食材に触れることを楽しむ。
- ・手づかみで食べる子どもに対しては、様子を見守り、自分で食べる事の楽しさを知らせる。

【1歳児組】

- ・友達と一緒に楽しく食事をとる事で、好き嫌いなく食べられるようになる。
- ・いろいろな食べ物に関心を持ち、意欲的に食べる。

【2歳児組】

- ・いろいろな食材に触れ、実際の物を観察や触れたりして、実物を知る。
- ・食育を定期的に行い、触れたり見たり等する機会を計画し、物の名前や断面図の様子を知る。

【調理員】

- ・食育を、毎月1回行い、食べ物の大切さ・食の有難さを教え、給食の残食を現在より減らしていく。
- ・安全な給食を提供するために、毎朝新鮮な食材を購入しに行く。
- ・子ども達の元気な身体づくりができるように、徹底した衛生管理を行い、毎日安全な給食を提供し、健康の増進に努める。
- ・衛生管理自主点検表（厨房編）を、毎日忘れずに記入する。
- ・保育士・保護者の方々と食事やアレルギーについての相談を定期的に行う。

◆体育（+睡眠教育）目標**【0歳児組】**

- ・温かい日は、外気浴を楽しむ。
- ・外遊びを通して、全身を使って遊んだりして、運動能力を高める。
- ・十分な睡眠をとれるように様々な環境を整える。

【1歳児組】

- ・快適な安心できる環境の中で、十分な睡眠をとる。
- ・友達や保育士と関わりながら、全身を動かして遊ぶ。

【2歳児組】

- ・室内・戸外などを活用して、全身運動が行えるように、室内外バランス良く活動する。
- ・歩く・走る・跳ぶ・蹴るなど、遊びの中で取り入れて全身を使えるようにし、十分な睡眠がとれるようにする。

◆知育目標

【0歳児組】

- ・遊びを通して、様々な素材の手触りを知る。
(紙・絵の具・シール・手形での製作などを、毎月行う。)
- ・戸外に出て、自然の植物や自然の風・光・太陽の光の暖かさ・冷たさ等、肌で感じてみる。

【1歳児組】

- ・周りの大人から受け入れられ、大切に接してもらうことで自尊心を育てる。
- ・気持ちを受け止めてもらったり、代弁してもらって、言葉を発する事を楽しむ。

【2歳児組】

- ・製作やブロックなど、自分で考えて表現する。
目に見えて表現できる物で、自分の作りたいものを表現できるように援助する。
- ・生活の流れの中で、リズムを覚えて、次の行動は何をしたら良いか等、考えられるように声をかけていく。
(何の遊びをしたいのか?等、質問し、考える力をつける。
絵本やカードを使用し、質問して考える力をつけていく。)

◆徳育目標

【0歳児組】

- ・眼差しを子どもと合わせる等し、スキンシップを通して、愛着を形成する。
- ・遊びを通して、友だちや保護者との関わりを深め、受け入れられる事を喜ぶ。

【1歳児組】

- ・友達と関わって遊ぶことで、自分とは違う考えや感じ方をしていることを知る。
- ・気の合う友だちと一緒に好きな遊びを楽しむ。

【2歳児組】

- ・友達や保育士に自分の言葉で、伝える。ルールを守りながら楽しく遊ぶ。
(自分で相手に言葉で伝えられるようにしていく。
ルールのある遊びや生活の中で、それを理解していくように促していく。)
- ・自由遊びを通して、1人1人の意見を取り入れて、一つの物を完成させる。

以上の内容を項目ごとに目標にして保育していくよう努めて参ります。

この内容は、保育園でお預かりするお子様達や保護者の皆様の目線に合わせた丁寧な関わりを大切にしていける事を基軸にしています。また上記の内容を実践していくためには、保育士一人ひとりが一丸となって、1人のために話し合い・意識を高め続ける事が最も重要で

2024/2/26

アルタベビー三橋園

あると思っております。

そして、今後も子ども達が主体的に保育園の友達や保育士・周りの大人たちと関わり、イキイキとした活動が出来るように見守り・援助・励ましていきながら、子どもたちの気持ちや想いを引き出してあげられるように保育環境を整えていきたいと思っております。今後とも引続き当園の保育にご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

今年度も多大なるご支援を頂戴し、誠にありがとうございました。